

2015「母校の桜を見る会」のお知らせ

目黒会首都圏総支部 西野 幸博

皆さま、相変わらずお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

今冬は、暖冬との予報とは異なり仲々骨のある冬となりましたが、昔の冬をご存じの皆様にはまだまだ可愛い寒さだったのではないのでしょうか。

さて、国際情勢が緊迫し日本の行く末を案じる声も多く聞かれるこの頃ですが、こんな時こそ日本の技術力と丁寧なものづくりの精神がその実力を発揮すべきではないかと思えます。

そこで、この技術力を創りあげ、かつ、ものづくりの精神に溢れたOBOGの皆さまに、是非とも母校の桜を愛で、かつ、互いの熱い思いをぶつけ合って頂こうと今年も下記のとおり「母校の桜を見る会」を開催することといたしました。

桜を愛でた後には思い切り語り合って頂きたく、懇親会として粗宴を設けさせていただきます。この懇親会では、本学名誉教授の湯川敬弘先生による講演「漢方はなぜ効くか」とOBの宇田道信先輩による、楽器ウダーの演奏がごぞいます。こちらも是非お楽しみ頂ければと存じます。

期末でもあり、また、他のお花見の予定などでお忙しいこととは存じますが、是非とも母校を訪れ、桜とともに楽しいひと時をお過ごし頂ければと存じます。

記

期日： 3月28日（土）

時間：

午後3時00分まで 母校内の桜を自由鑑賞

午後3時より リサーチ1階にて懇親会

- ・講演「漢方はなぜ効くか」 — 湯川敬弘 先生
- ・楽器「ウダー」演奏 — 宇田道信 先輩

会費： 2,000円（懇親会）

定員： 先着30名

ご出席の連絡先： 以下の幹事宛にメールにてご連絡下さい。

目黒会首都圏総支部「母校の桜を見る会」幹事

西野 幸博 <nyukihiro9012@gmail.com>

水戸 和幸

メールには、

母校の桜を見る会に参加、

氏名、卒年学科（またはご友人、ご家族ならばその旨）

連絡先電話番号等

を記入してください。

漢方はなぜ効くか

－自然科学的認識と異なる認識－

講師 電気通信大学名誉教授
湯川敬弘 先生

今日、漢方薬は保険の適用も受けており、一般にも認知されてきたようです。
しかし、おそらく知識人の間では、自分がよほど病の治療に方策が尽きて薬にもすがら思ってもなければ、漢方治療に行かない人が多いのではないのでしょうか。そして、漢方治療がうさんくさい目で見られる理由はおそらく「(自然)科学的でない」ということでしょう。
実際、漢方を使っているお医者さんでも、「効くから使っている」が、自分ではどうも釈然としないという人が多いのです。それは専門の学会誌での論文が何とか自然科学的に説明しようという努力を重ねていることでも分かります。

しかし、それは自然科学的な考え方というものを根本から理解していない所から来る不安に基づいている、と言わざるを得ません。

本講では、自然科学というものが世界に対する一つの認識方法であって、それには限界があることをお話しして、漢方が一つの確立された医学であることを述べたいと思います。

<湯川敬弘先生プロフィール>

電気通信大学名誉教授

東京大学教養学科ドイツ科卒業

同大学院比較文化・比較文学博士課程単位取得 退学。

電通大ではドイツ語、比較文化論などを担当。専攻は比較哲学、比較文化。

発表論文：ヤスパースの実存哲学関係、宋学（特に程明道・程伊川）関係、
西周の哲学関係、など多数

宋学との関係から易学・漢方については四十年来、実践的に研究を重ねる。

所属学会：比較思想学会、日中人文社会科学学会、東方学会、日本中国学会、日本東洋医学会

一般社団法人目黒会 事務局

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

TEL 042-482-3812 FAX 042-482-3845

* 電気通信大学は2018年に100周年を迎えます。

UEC基金へのご支援をお願いいたします。